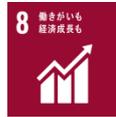


2021年1月29日



「日本モノづくり未来投資事業有限責任組合」への出資について

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、下記の通り、「日本モノづくり未来投資事業有限責任組合」へ10億円を出資いたしますのでお知らせします。

本ファンドは、日本における高い技術・技能を維持し、モノづくりの力を今後も発展させていくため、優れた技術・人財・サービスを有する国内のモノづくり企業に投資し、TPS（トヨタ生産方式）や経営戦略の策定等により支援します。当行は、本ファンドに出資することを通じて、企業の持続的な成長を支援し、愛知県の基幹産業である自動車産業も含めた日本のモノづくりの発展に貢献いたします。

当行は今後も、経済の活性化に資する取組みを積極的に行ってまいります。

記

日本モノづくり未来投資事業有限責任組合の概要（2021年1月29日現在）

ファンド名	日本モノづくり未来投資事業有限責任組合 (通称：日本モノづくり未来ファンド)
ファンド規模	123億円(2020年12月7日時点)
有限責任組合員(LP)	株式会社名古屋銀行(10億円) トヨタ自動車株式会社、 株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、 他地域金融機関など
無限責任組合員(GP)	スパークス・グループ株式会社
ファンドの基本理念	・優れた技術、人財、サービスを有する企業の企業価値向上を支援 ・日本のモノづくりの発展と人材の育成に貢献
投資先	優れた技術、人財、サービスを有する国内のモノづくり企業 (自動車関連等の製造業を想定)
投資先への支援内容	・TPSに基づく現場・経営改善支援 ・株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行 が培ってきたファイナンス・投資活動の知見、ノウハウの活用 ・経営戦略、中期経営計画の策定・実行支援、等

※本ファンドは、2021年10月末までを目途に追加出資を募り、最終的には200億円規模のファンドを目指します。

以上